

問1 空気の成分の約5分の1をしめていて、ものを燃やすはたらきがある気体は何ですか。

問2 ものが燃え続けるには空気が必要ですが、燃えているところに新しい空気がこないようにすると、火はどうなりますか。

問3 集気びんの中でろうそくを燃やし続けるとき、どのようにするとろうそくは燃え続けますか。

問4 ものが燃え続けるとき、まわりの空気はどのように動きますか。

問5 空気の中にある酸素や二酸化炭素の体積の割合をはかるために使う器具はどれですか。

問6 実験で、空気の入り口をだんだんせまくしていくと、ほのおの大きさはどうなりますか。

問7 ろうそくの熱であたためられた空気は、まわりの空気と比べてどのように動きますか。

問8 空気中にごくわずか（約0.04%）しか含まれておらず、ちっ素と同じようにものを燃やすはたらきがない気体は何ですか。

問9 びんの中でろうそくを燃やし続けるために、空気の入り口を下に、出口を上にとすると、びんの中の空気はどうなりますか。

問10 ちっ素や酸素、二酸化炭素、水蒸気などのさまざまな気体が混じり合っていて、私たちのまわりを取り囲んでいるものを何といいますか。

問11 ものを燃やす前の空気の中に、二酸化炭素はおよそ何%含まれていますか。

問12 水を満たした集気びんの中に気体を入れる、気体の集め方は何ですか。

問13 集気びんの中でろうそくを燃やし続けると、やがて火が消えてしまいます。このように、ものが燃えたあとに火が消えるのはなぜですか。

問14 火のついたろうそくを酸素がたっぷり入った集気びんの中に入れると、ほのおの様子はどうなりますか。

問15 ものを燃やす前の空気の中に、酸素はおよそ何%含まれていますか。

問16 ものを燃やすとき、ほのおの大きさを決めるのは、気体に含まれるどの気体の割合ですか。